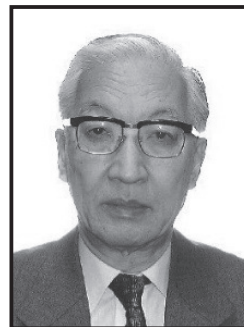


追悼

松浦邦男 元理事長を偲ぶ

本協会元理事長 松浦邦男氏（享年九十二歳）は、令和元年九月十八日ご逝去されました。



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

松浦邦男先生は昭和27年京都大学工学部建築学科を卒業、同大学院に進学の後、昭和30年4月に京都大学工学部講師となり、研究・教育に携わることになりました。その後、京都大学助教授・教授を経て、平成2年定年により退職された後、摂南大学工学部教授、宝塚造形芸術大学教授を歴任し、平成13年から18年まで(財団法人)建築研究協会常務理事、平成18年から22年まで理事長を務められました。講師に着任以来45年の長きにわたり学生の教育・指導に当たり、多くの優秀な研究者・技術者を育成されました。また、建築環境工学、特に光環境工学の研究に多くの功績を収められ、その成果は国内外の研究および実務に多大なる影響を与えました。さらに国内外及び産官学の多くの委員、委員長・主査を務められ、建築に関する学術・技術・行政の発展に大いなる貢献をされました。このような功績が認められ、平成17年に「日本建築学会大賞」を受賞され、平成19年には栄えある瑞宝中綬章を受章されました。

私が昭和50年4月に大学院進学で建築学教室環境系研究室に配属され、その後昭和60年に福井大学へ転出するまでの10年間、松浦先生とは親しくお付き合いをさせていただきました。私が配属された当時は環境系全体がかなりこじんまりとしていました。従って環境系の全研究室一体となった活動が多く、週一回は全体ゼミがあり熱い議論が交わされていました。松浦先生をはじめとする教員、そして先輩たちの研究に対する熱意が私たち学生にも伝わってきました。その影響が多大であったということを今つくづく思い知らされます。特に松浦先生は学生に対し非常に丁寧でやさしく接しておられました。研究の面では学生一人一人の自由な研究活動を重視し、その力を最大限引き出すような教育をされました。そのような教えに感謝申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

評議員・京都大学名誉教授 高橋大弐